

- ③ 黒川病院で出産可能になるよう、どのように推進されているか。
- ④ 広域に産婦人科が少ないことに対する見解は。

◇ 答弁

ご承知のとおり、公立黒川病院は、指定管理者制により公益社団法人地域医療振興協会に管理運営を委ねております。病院における考え方よりお答えいたします。

まず、黒川病院におけます「産後ケア事業」については、黒川病院内の産後ケアについては、母乳トラブルがある場合、外来での母乳・授乳支援を行っており、医師の診察と助産師による乳房マッサージ及び授乳・育児指導を行い、継続した支援が必要な場合に、通院により対応しております。また、症例によっては外来看護師や社会福祉士からも市町村の保健師に情報提供を行っております。

また、院外活動においては大和町大衡村の委託を受け、2町村において、母子・新生児訪問を助産師が行っております。訪問の中で産後うつが伺われる場合や家庭環境に問題がある場合などは、町村の保健師も一緒に訪問し対応しております。

※おおよその年間訪問実態…  
大和町約30名、大衡村約10名

次に「日帰り型、宿泊型支援の取り組み、そして課題」についてはありますが、日帰り型については、外来で医師と助産師が対応しますので、

問題はありませんが、産後うつの方や入院が必要な方については、黒川病院での対応が困難であり、専門の医療機関へ紹介することになり、紹介先医療機関の確保が困難な状況にあります。

「宿泊型」については、母子の受け入れる環境が整っていないこともあり、24時間対応するための医師、専門スタッフのマンパワーが不足しており難しい状況にあります。

※現在…産婦人科医師1名、助産師5名  
(専従でなく、産科を閉じた後は、内科や他科にも配属しています。)

次に「黒川病院で出産可能になるようにどのように推進されているか。」についてであります。産科の医師確保に向けて東北大学病院や宮城県に對し要請して来ており、極めて難しい状況にあります。

また、「広域に産婦人科が少ないことに対する見解」についてとこのこととありますが、東北大学病院においては、宮城県の計画に基づき、大学病院から産婦人科医師を派遣し、出産を可能とする医療機関については、県内5か所に集約化する方針とされ、近隣において仙台市内と大崎市に集約されております。

更に、産婦人科学会における考え方としても、安全な分娩環境を考慮し複数の産婦人科医を集中配置する考え方が出されております。

また、病院の経営、採算性から、複数の産婦人科医を配置する場合、

分娩数が年間500〜1,000に近い分娩数がないと採算が取れません。今日における黒川地域での出生実態を踏まえても、黒川病院として複数産科医師の配置は難しいです。その様なことから、東北大学病院からの派遣はなかなか難しい状況と言えます。

◆ 平成29年 第1回定例会 ◆

平成29年2月9日に、平成29年第1回議会定例会が開催され、理事会より提出された14件全ての議案が可決されました。

◆ 可決議案

- 承認第1号 専決処分承認を求めることについて(工事請負契約の変更について)
- 議案第1号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第2号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第3号 黒川地域行政事務組合火災予防条例の一部を改正する条例
- 議案第4号 財産の取得について
- 議案第5号 平成28年度黒川地域行政事務組合一般会計補正予算(第6号)

議案第6号 平成28年度黒川地域行政事務組合介護認定審査会特別会計補正予算(第1号)

議案第7号 平成28年度黒川地域行政事務組合病院事業会計補正予算(第1号)

議案第8号 平成29年度黒川地域行政事務組合一般会計予算

議案第9号 平成29年度黒川地域行政事務組合介護認定審査会特別会計予算

議案第10号 平成29年度黒川地域行政事務組合障害支援区分認定審査会特別会計予算

議案第11号 平成29年度黒川地域行政事務組合病院事業会計予算

議案第12号 平成29年度黒川地域行政事務組合訪問看護ステーション事業会計予算

同意第1号 教育委員会委員の任命について

黒川地域行政事務組合 教育委員会

委員の紹介

庄子明 宏氏

(大衡村教育委員会教育長)

平成29年第1回議会定例会において任命同意されました。

任期…平成29年4月1日

平成33年3月31日